



通信制ヴィザス 産大で研修会 水球の稻場選手も 近況報告

新潟産大（星野三喜夫学長）で総合教育サービス企業「ヴィザス」（大阪市、

生駒富男社長）が全国展開する通信制「第一学院高」のキャンパス長研修会が開かれた。今春、同高から産大に進学した水球日本代表の稻場悠介選手（19）らが恩師に近況を報告した（写真）。

同大を運営する学校法人

・柏専学院（梅比良眞史理事長）とヴィザスは昨年8月、業務連携協定を締結。第一学院高は、本校（栃木県、兵庫県）と全国各地にキャンパス校があり、毎年2千人の卒業生を送り出している。今春、同大に19人が入学した。研修会は先月上旬に行われた。

稻場選手は実家のある富山キャンパスで過ごし、水球世界大会「ワールドリーグ」で得点王と新人賞に輝いた。水球と勉強を両立できる環境を求めて同大へ。来年の東京五輪での活躍が期待される。倉沢弘明・前キャンパス長と再会し「高校時代から応援していただいている。久しぶりに会えて感動した」と話した。